

キンダーブック1

3月号



表紙の絵から

くまさんカーの最後のお店は、春のお弁当屋さん。春が旬の食材が詰まった、おいしそうなお弁当に注目し、「どれが食べたい?」「お弁当を持ってどこに行きたい?」などと話してみましょう。4月号~3月号までの裏表紙を1年分つなげて、ぜひ長い迷路をお楽しみください。



どうしたのかな?

ねらい 年下の子との関わりをとおして、自分たちの成長を感じましょう。



園で小さい子たちと一緒に遊んでいた、くるりちゃんたち。こなたくんが、小石につまずいて泣いてしまいました。「みんなだったら、どうする?」と尋ね、どんなことができるか話し合ってみましょう。

にゃんたくんは先生を呼びにいき、くるりちゃんは一緒に待っていようと声をかけました。それぞれができることを考えて行動したことに注目します。小さい子だけでなく、困っている子がいたら声をかけられるよう促しましょう。



小さい子にやさしくできたふたりの行動を振り返り、お兄さん、お姉さんとして、かっこいい行動ができたことをほめてあげましょう。「みんなもお兄さん、お姉さんになったよね」「もうすぐ大きい組になるね」などと話し、進級への期待を高められるとよいですね。



どうぶつの あかちゃん



ねらい 犬の赤ちゃんの成長を観察しながら、自分たちの成長に気づかせましょう。

つかい方のポイント 犬の赤ちゃんがお母さんのおちちを飲んで成長したことに着目します。人間と似ているところはどこか発表し合ひましょう。春は動物がたくさん生まれる季節だと伝え、動物園に行ったり、絵本や図鑑で観察したりしてもよいですね。



ころりん てまりずし



ねらい 手まり寿司を作るようすを見ながら、ひな祭りへの関心を深めましょう。

つかい方のポイント ひな祭りには女の子の成長を願って、ひな人形や手まりを飾ることを伝えます。「手まりに似た、手まり寿司って知ってる?」「どの手まり寿司を食べたい?」などと話し、クッキングに注目すると、男の子も興味をもてそうです。

「キンダーブック1」を保育にご活用ください!



絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
<p>「どうしたのかな?」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小さい子が困っていたら何ができるか考える。 困っている人を助けるには、まわりの人と協力する方法があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 小さい子が困っていたら、なんと声をかけるか、どんなことをしてあげられるか尋ねる。 ひとりでは手助けできないときは、まわりの人に協力してもらおうことのたいせつさを伝える。 「みんなもやさしいお兄さん、お姉さんになれるといいね」と伝え、進級への期待を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境 人間関係 言葉
<p>「おおきくなったよ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食べることでからだは成長することを知る。 からだは成長したり、できることが増えたりしたことを実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事から栄養を摂ることでしょうぶなからだになり、成長することを伝える。 「小さいころはできなかったけれど、できるようになったことは何か?」と尋ね、発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現 健康 環境